

令和5年12月11日

取手市議会議長  
金澤克仁殿

建設経済常任委員会  
委員長 染谷和博

### 委員会中間報告書

本委員会の調査事件について、会議規則第45条第2項の規定により、下記のとおり報告いたします。

### 記

#### 1 調査事件名

所管事務調査「都市整備部の所管に関する事項」（公共交通について）

#### 2 調査の経過

年月日	調査の内容
令和4年 9月9日	令和4年5月14日に開催した市民との意見交換会において、デマンド交通に関する要望が出されたことを踏まえ、千葉県柏市に視察を行うことを決定。
11月2日	千葉県柏市への行政視察を実施。
12月14日	閉会中の委員派遣要求を決定。（山形県南陽市・福岡県嘉麻市）
12月28日	閉会中の委員派遣要求を決定。（三重県三重郡菰野町）
令和5年 1月23日	山形県南陽市への委員派遣を実施。
1月24日	
1月30日	福岡県嘉麻市への委員派遣を実施。
1月31日	
2月8日	三重県三重郡菰野町への委員派遣を実施。
2月9日	
9月12日	公共交通機関のデマンドに関する有識者の意見をいただくため、参考人として拓殖大学名誉教授の秋山義継氏を委員会に出席要求することを決定。
9月25日	参考人の拓殖大学名誉教授の秋山義継氏から意見をいただき、執行機関への提言事項に関し委員間討議。
11月7日	委員会において執行機関に現状確認し、委員間討議を行った上で、執行機関への提言事項を決定。

#### 3 中間報告

別紙のとおり提言することに決定しました。

## 公共交通空白地域の解消に向けた提言書

建設経済常任委員会では、市民との意見交換会において、コミュニティバスの運行ルートの変更により、病院や買い物に行く際に多大な負担が生じている旨の意見を市民の皆様からいただいたことを契機として、本市における公共交通空白地域の解消に向けた施策を調査するため、令和4年度には、千葉県柏市、山形県南陽市、福岡県嘉麻市、三重県三重郡菰野町に、オンラインも活用しながら、効果的かつ効率的に先進地視察を行いました。

令和5年度には、「公共交通とまちづくり」をテーマに開催した議員研修会の講師としてお招きした拓殖大学名誉教授の秋山義継先生に、委員会の参考人としても出席していただき、公共交通機関のデマンドに関し、専門的な見地から御意見をいただきました。

自動車運転業務の時間外労働の上限規制が改められることにより生じる、いわゆる2024年問題が目前に迫り、運転業務の担い手不足により、公共交通空白地域の更なる拡大が懸念される状況にあります。

これらの調査結果や社会環境等を勘案し、当委員会として、本市における公共交通空白地域の解消に向けた施策について、執行機関への現状調査を行い、委員間で討議を重ねた結果、下記の事項について提言します。

### 記

- 1 全てを整備するには時間もかかり財政負担も大きいので、まずは試行的に乗り合いタクシーを公共交通空白地域に導入すること。
- 2 学校、障害者福祉施設、介護施設等への送迎に使用されている車両について、空き時間等を有効活用できないか、現状調査を行うこと。
- 3 国土交通省が行っているAIオンデマンド交通の公募に参加を検討すること。
- 4 移送サービスとの連携を図ること。